

令和元年度

安平町議会の概要



ABIRAの「AB」を基に、
安平川となだらかな丘陵を持つ
豊かな住環境を表しています。

やさしい風のそよぐ、
さわやかな自然にいだかれて
発展する安平町を表現しています。

ゆうふつぐんあびらちょう
北海道勇払郡安平町議会

(令和元年5月13日作成)

地域の概況

1 位置及び面積

安平町は、北海道の南西部に位置し、北は由仁町、東は厚真町、南は苫小牧市、西は千歳市に接しています。道都札幌市から約 50km、北海道の空の玄関口である新千歳空港からは 14km 程度の位置にあり、交通の便のよい地域といえます。面積は合計 237.16 km²、平成 31 年 3 月末の（住基）人口は 7,881 人で、世帯数は 4,122 世帯となっています。

（平成 27 年国勢調査）

区分	人口	世帯数	面積
安平町	8,148 人	3,651 世帯	237.16 km ²

（参考：平成 22 年国勢調査人口 8,726 人、世帯数 3,753 世帯）

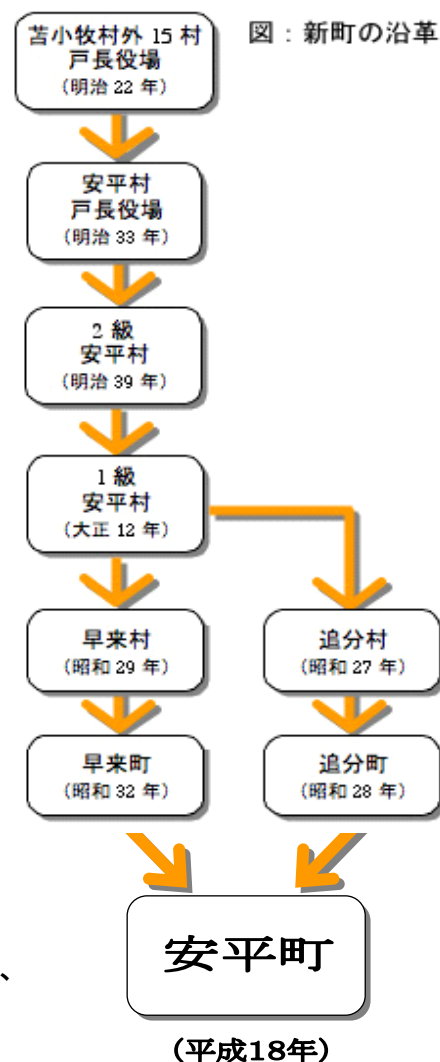
2 沿革

合併により生まれた**安平町**、67 年前も一つの町でした。昭和 27 年、当時の安平村から分村独立し、追分村が誕生しました。昭和 29 年には、安平村が早来村に名称変更され、それぞれのまちづくりが進められてきました。

早来は、明治 22 年、千歳、苫小牧に隣接するフモンケ（現在の富岡）に開墾の鋤が入れられたのを機に、北海道でも有数の酪農地帯として発展、現在では競争馬の一大産地として名を馳せるとともに、飛行場、港に隣接する好条件を生かした企業誘致に力を入れ、多くの会社が操業しており、また住宅団地の造成にも力を注いできました。

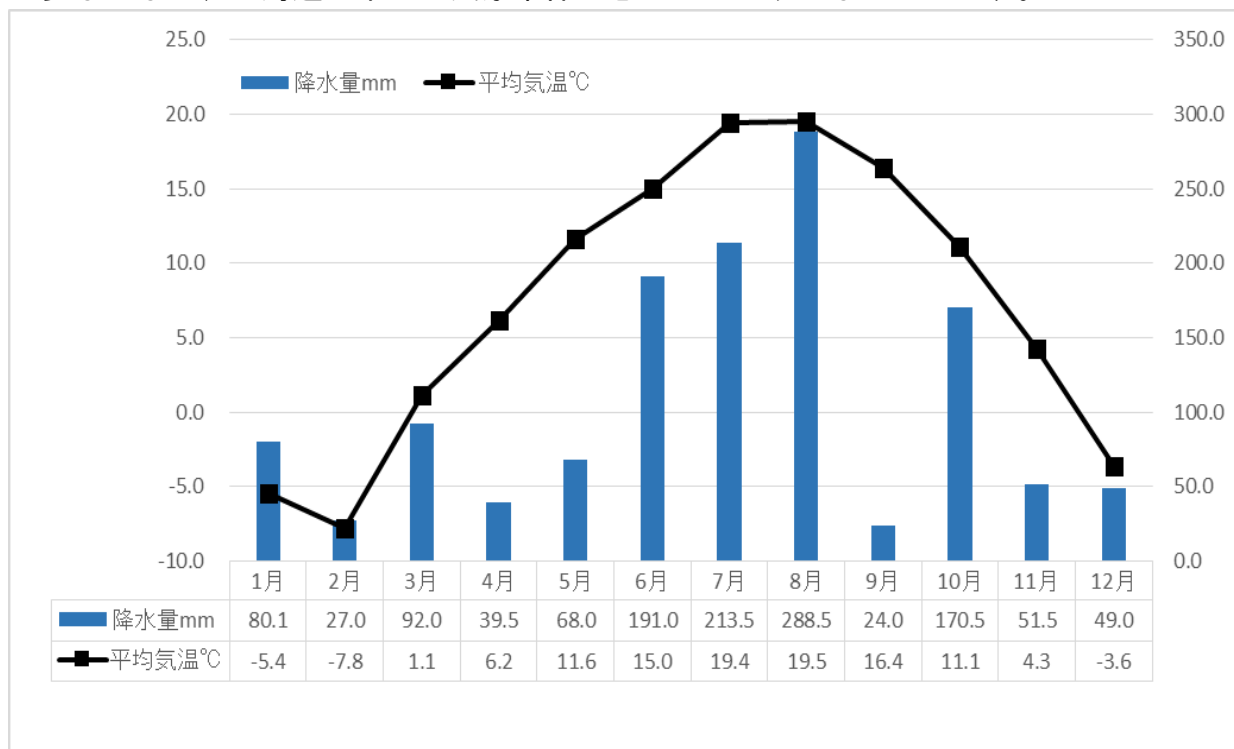
一方、追分は明治 25 年、空知地方や夕張から産出される石炭を、室蘭港へ運ぶための鉄道線路が敷設され、追分停車場が設置されたのを機に、鉄道を中心とする産業で発展してきました。昭和 45 年国営等による大規模な農地造成が始まり、平成 6 年には住宅の町づくりがスタートするなど鉄道依存からの脱皮を目指し、現在に至っています。

そして、分村後 54 年が経過する中で、国の施策に将来の町の姿を置き換え、真剣な議論を積み重ね合併の道を選択し、笑顔のあふれる安平町の新たな町づくりが、始まりました。



3 気 候

安平町の年間平均気温は、7.3 度と北海道平均と比較すると暖かく、年間降水量は 1,294.5mm となっていますが、降水は夏期と晩秋から初冬に集中しており、冬期の降雪が少ないなど、北海道の中では気象条件に恵まれた地域となっています。



※出展：気象庁（気温は厚真観測所、雨量は安平観測所の2018年データ）

4 土地利用(地目別面積)

安平町の土地利用をみると、山林が92.6km²と全体の約40%を占めています。次いで、田・畑・牧場といった農地が78.24km²と約33%を占め、宅地は6.48km²で2.7%となっています。北海道平均と比較すると、標高の高い山が無く、地形的な起伏が少ないことから山林の占める比率が少なく、農地などの比率が高いという特徴が見られます。

田	畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
12.92	57.42	6.48	92.60	7.90	16.79	14.08	28.97	237.16 km ²
5.45%	24.21%	2.73%	39.05%	3.33%	7.08%	5.94%	12.21%	100.0%

※出展：平成30年北海道統計書

5 その他(統計数値)

1) 人口及び世帯数

区 分	人 口			世帯数
	男	女	計	
平成 22 年国勢調査	4,312 人	4,414 人	8,726 人	3,753 世帯
平成 27 年国勢調査	4,049 人	4,099 人	8,148 人	3,651 世帯
現在住民登録 (H31.3 末)	3,919 人	3,962 人	7,881 人	4,122 世帯

2) 産業別就業人口

区 分	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	総 数	備 考
平成 22 年国勢調査 就業人口 (人)	1,084	667	2,320	4,071	分類不能 79 含まず
構成比 (%)	26.6	16.4	57.0	100.0	
平成 27 年国勢調査 就業人口 (人)	999	664	2,313	3,976	分類不能 30 含まず
構成比 (%)	25.1	16.7	58.2	100.0	

3) 産業形態

区 分	第 1 次産業		第 2 次産業			第 3 次産業				
	農業	林業	鉱業	建設業	製造業	電気 ・ガス ・水道等	情報 通信業			
平成 22 年国勢調査 (人)	1,062	20	8	278	381	24	5			
平成 27 年国勢調査 (人)	975	24	6	259	399	27	9			
平成 27 年の比率 (%)	24.3	0.6	0.1	6.5	10.0	0.7	0.2			
第 3 次産業										
運輸業	卸売 ・小売業	金融 ・保険業	不動産業	飲食店 ・宿泊業	医療 ・福祉	教育 ・学習支援	複合 サービス業	サービス業 (他に分類 されない)	公務 (他 に分類さ れない)	分類不能 の産業
234	407	30	12	175	360	105	59	263	392	79
195	400	32	29	204	344	127	78	523	345	30
4.9	10.0	0.8	0.7	5.1	8.6	3.2	1.9	13.1	8.6	0.7

※区分変更(細区分)があるため、前年と比較はできません。

議会の概要

安平町は、旧早来町と旧追分町の2つの町が合併し平成18年3月27日新町としてスタートしました。

旧両町は、昭和27年に当時の安平村から、それぞれ分村独立して早来村、追分村を創設し、独自の町づくりを進めてきました。

国の財政が深刻な状況の中で、交付税の削減、事業の補助金を交付金化など市町村への財源措置を大きく転換する動きに、将来を見据えた各市町村は国の進める合併に呼応。安平町もその一つとして合併の道を選択しました。

なお、平成18年4月23日第1回安平町町長と議会議員の選挙が行われ、少数激戦を経て18名の議員が当選し、新生安平町の町づくりの一翼を担うこととなりました。

その後、平成21年9月議会で定数条例が改正され、平成22年4月の選挙から定数14名。平成29年6月議会の定数条例改正により平成30年4月の選挙から定数12名となりました。

1 議会の組織・構成

- 議員任期 : 平成30年4月23日～令和4年4月22日
- 条例定数 : 12人
- 常任委員会 : 総務常任委員会 6人
経済常任委員会 5人
- 議会運営委員会 : 5人
- 特別委員会 : 議会広報特別委員会 6人
議会改革調査特別委員会 11人
復興特別委員会 11人
- 一部事務組合
胆振東部消防組合（消防） 2人
安平・厚真行政事務組合（廃棄物処理） 2人
胆振東部日高西部衛生組合（し尿処理） 2人
- 議長 : 牧田 弘 満 副議長 : 田 村 興 文
- 町 長 : 及 川 秀 一 郎
- 副町長 : 村 井 克 彦
- 議会事務局 : 局長、補佐、主事、臨時職員

2 歴代の正副議長

歴代	議 長	
	氏 名	在職期間
初	泉田 英吉	18.5. 1～22.4.22
2	山田 尚孝	22.4.28～26.4.22
3	佐藤 進	26.4.28～30.4.22
4	牧田 弘満	30.4.27～

歴代	副 議 長	
	氏 名	在職期間
初	竹内 亨	18.5. 1～22.4.22
2	島田 俊明	22.4.28～26.4.22
3	島田 俊明	26.4.28～30.4.22
4	田村 興文	30.4.27～

3 議会の当選回数別・年齢別・職業別議員数

○ 当選回数（現在までの旧町部分含む）

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	計
議員数(人)	5	0	2	1	3	0	1	0	12

○ 年齢別（平成31年4月1日現在）（平均年齢63.5歳）

年齢	39以下	40～49	50～59	60～69	70以上	計
議員数(人)	1	0	3	3	5	12

○ 職業別（平成31年4月1日現在）

年齢	会社役員	会社員	自営業	農業	その他	無職	計
議員数(人)	0	2	1	2	1	6	12

4 議会活動状況

○ 本会議開会状況（平成29年）

会議名	会期	日数 (日)	本会議 (日)	一般 質問 (人)	一般 質問 (件数)	傍聴者 (人)	各委員会	
							(日)	(日)
第1回定例会	3.10～3.16	7	4	5	10	15	(4)	3
第2回臨時会	6.9	1	1			0		
第3回定例会	6.20～6.21	2	2	5	8	12		
第4回定例会	9.20～9.21	2	2	5	13	4		
第5回臨時会	10.5	1	1			0		
第6回定例会	12.20～12.21	2	2	5	9	7		
計		15	12	20	40	38	(4)	3

○ 本会議開会状況（平成30年）

会議名	会期	日数 (日)	本会議 (日)	一般 質問 (人)	一般 質問 (件数)	傍聴者 (人)	各委員会	
							(日)	(日)
第1回臨時会	2.5	1	1	-	-	1		
第2回定例会	3.9～3.14	6	4	5	8	10	-	2
第3回臨時会	4.27	1	1	-	-	4		
第4回定例会	6.21～25	5	3	8	19	21		
第5回臨時会	10.9	1	1	-	-	5		
第6回定例会	10.31～11.1	2	2	7	12	10		
第7回臨時会	11.30	1	1	-	-	3		
第8回定例会	12.18～19	2	2	7	17	8		
計		19	15	27	56	62	-	2

※ 本会議と各委員会の日数は、同日開催の場合重複しているため、延べ日数となります。

5 議会の運営等

区 分	説 明
会議時間	午前 10 時から午後 5 時まで
説明員出席要求	あらかじめ町長及び行政委員会の長へ文書で要求
議案配布	議会招集日の 10 日前までに配付（状況によっては 7 日前）
議事録署名議員	会議中をとおして指名、途中欠席の場合は別途指名
議事日程	議案発送と同じ日に配布し、会期日特別に再度作成配付
諸般の報告	会議の始め又は議事に入る前に議長が報告（質問は許可していない）
行政報告及び 事務報告	毎議会で諸般の報告後に、町長及び総務課長より報告（質問は 1 議員 1 回に限り質疑を認める）
一般質問	議案より前に用紙を配布して、文書で通告、締切りはその都度決定後、 通告順より質問 一問一答とし、制限時間は、質問、答弁を含め 1 時間以内とする
緊急質問	原則として文書により通告
質 疑	回数は原則 3 回とする
予 算	当初予算は予算審査特別委員会（議長を除く全議員）で審議 補正予算は本会議で審議
条 例	本会議で審議
決 算	決算審査特別委員会（議長及び監査委員を除く全議員）で審議
請願・陳情等	原本の写しを配布し、議会運営委員会で協議 請願及び重要な陳情は委員会に付託、その他のものは議員配布
報 告	各委員会の調査及び視察の結果については本会議で報告し、 常任委員会報告のみ質疑を許可
議会運営委員会	委員定数 5 人（副議長、2 常任委員会から委員長、他 2 名）
議員会	平成 18 年 5 月 1 日設置。会費は毎月の報酬から 5 千円を徴収
広報特別委員会	平成 30 年 4 月 27 日特別委員会として設置、委員定数 6 人
復興特別委員会	北海道胆振東部地震からの復興を目的に平成 30 年 11 月 1 日設置。
事務調査（道内）	各委員会で必要の都度、1 日から 1 泊 2 日（職員旅費規程） なお、道外については予定なし
研修会（全道）	全道町村議会議長会主催の研修会、1 日（職員旅費規程）
研修会（胆振）	管内町村議会議長会主催の研修会、1 泊 2 日（職員旅費規程）

6 議員の報酬・費用弁償

○ 報酬の改定状況

（単位：千円）

適用年月日	議長	副議長	常任委員長	議運委員長	議員	備考								
H30. 4. 23	280,000 (250,000)	230,000 (200,000)	210,000 (183,000)	210,000 (183,000)	200,000 (176,000)	報酬減額規定 <table border="1"> <tr> <td>欠席日数</td> <td>支給率</td> </tr> <tr> <td>90 日超</td> <td>80/100</td> </tr> <tr> <td>180 日超</td> <td>70/100</td> </tr> <tr> <td>365 日超</td> <td>50/100</td> </tr> </table>	欠席日数	支給率	90 日超	80/100	180 日超	70/100	365 日超	50/100
欠席日数	支給率													
90 日超	80/100													
180 日超	70/100													
365 日超	50/100													
対首長比率	37.7%	31.0%	28.3%	28.3%	26.9%	(H18.3.27 条例制定)								

()は改正前

○ 期末手当（H30年4月23日適用）

支給日	6月	12月	合計	備考
支給率	212.5/100	227.5/100	440/100	役職加算無し

○ 費用弁償（H18年3月27日適用）

陸路 （1km）	日 当		宿 泊 料			備 考
	町 外	道 外	町 内	町 外	道 外	
25 円	1,000 円	2,000 円	—	9,800 円	12,740 円	

※ 日当無支給区域（厚真・むかわ・白老・平取・日高・由仁・栗山・長沼・南幌町
夕張・江別・千歳・北広島・恵庭・苫小牧市）については日当を支給しません。

ただし、日当無支給区域にあっても宿泊を要する場合は、日当1,000円が支給されます。

※ 自家登録者（自家用車）を使用した場合の費用弁償は2kmを超えた場合のみ、1キロにつき25円の費用弁償を支給します。

○ 特別職等の給料・報酬

（単位：千円）

職 名	報酬額	適用年月日	職 名	報酬額	適用年月日
町 長	月額 743,000	H30.4.1	監査委員（識見）	月額 50,000	H30.4.1
副町長	月額 617,000	〃	監査委員（議選）	月額 32,000	〃
教育長	月額 595,000	〃	選管委員長	日額 7,000	〃
教育委員	月額 26,000	〃	選管委員	日額 6,000	〃
農委会長	月額 38,000	〃	その他委員	日額 6,000	〃
農業委員	月額 27,000	〃			

7 議会との関連組織

○ 胆振支庁管内町村議会議長会

管内の町村議会議長をもって組織され、各町村議会相互の連携を密にし、議会運営の向上と地方自治の振興発展を図っています。

○ 胆振東部市町議会懇談会

1市4町の議長、副議長をもって組織され、各市町間の行政推進上における情報、或いは課題等に対する意見交換の場として年1回開催しています。

5 議会費の内訳

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度予算	平成 30 年度予算	平成 31 度予算	備 考
報 酬	30,996	31,042	30,480	
職員手当等	11,158	11,227	11,303	
共 済 費	12,470	12,011	11,058	
賃 金	1,543	1,575	1,607	
旅 費	856	857	831	
交 際 費	180	180	150	
需 用 費	575	667	780	
役 務 費	112	154	43	
使用料及び賃借料	4	13	13	
負担金補助及び交付金	592	680	1,346	
議 会 費 計	58,486	58,406	57,611	
一般会計歳出総額	7,909,200	7,570,437	8,422,484	
構 成 比 (%)	0.74	0.77	0.68	

6 安平町議会構成

○議会議員

自 平成30年4月23日

至 令和4年4月22日

(平成31年4月1日現在)

議席 番号	氏 名	年 齢	職 業	党 派	当 選 回 数	備 考
1	箱 崎 英 輔	58 歳	放課後児童 支援員	無	1(1)	
2	小笠原 直 治	69 歳	無職	無	3(3)	
3	吉 岡 政 昭	75 歳	無職	無	1(1)	
4	鳥 越 真由美	56 歳	自営業	無	4(4)	
5	工 藤 秀 一	60 歳	無職	公明	1(1)	
6	三 浦 恵美子	38 歳	党苦小牧地区委員会	共産	1(1)	
7	梅 森 敬 仁	61 歳	無職	無	1(1)	
8	米 川 恵美子	75 歳	無職	無	2(3)	
9	多 田 政 拓	71 歳	会社員	無	4(7)	
10	工 藤 隆 男	70 歳	無職	無	4(5)	
11	田 村 興 文	73 歳	農業	無	4(5)	
12	牧 田 弘 満	56 歳	農業	無	4(5)	

※ 当選回数()は、安平町及び合併前の旧町議会議員との通算回数となっています。

○常任委員会・委員会等名簿

総務常任委員会(定数6名)	
委員長	鳥越 真由美
副委員長	米川 恵美子
委員	箱崎 英輔
委員	吉岡 政昭
委員	工藤 秀一
委員	梅森 敬仁

経済常任委員会(定数6名)	
委員長	工藤 隆男
副委員長	三浦 恵美子
委員	小笠原 直治
委員	多田 政拓
委員	田村 興文
委員	

議会運営委員会(定数5名)	
委員長	米川 恵美子
副委員長	三浦 恵美子
委員	鳥越 真由美
委員	工藤 隆男
委員	田村 興文

議会広報特別委員会(定数6名)	
委員長	吉岡 政昭
副委員長	工藤 秀一
委員	箱崎 英輔
委員	小笠原 直治
委員	鳥越 真由美
委員	田村 興文

復興特別委員会(定数 11 名)			
委員長	田村 興文	委員	工藤 秀一
副委員長	工藤 隆男	委員	三浦 恵美子
委員	箱崎 英輔	委員	梅森 敬仁
委員	小笠原 直治	委員	米川 恵美子
委員	吉岡 政昭	委員	多田 政拓
委員	鳥越 真由美	委員	

一部事務組合議員		
安平・厚真行政事務組合	吉岡 政昭	多田 政拓
胆振東部消防組合	工藤 秀一	梅森 敬仁
胆振東部日高西部衛生組合	箱崎 英輔	三浦 恵美子

○議会事務局職員

職名	氏名	兼務	職名	氏名	兼務
事務局長	木林 一雄	監査書記	課長補佐	三好 章雄	監査書記
主事	寺西 富美男	監査書記	臨職	1名	

【 メ モ 】